

1. 第三者評価報告概要表

作成日 平成21年7月10日

【評価実施概要】

事業所番号	2870200694		
法人名	株式会社ライフサポートジャパン		
事業所名	ゆうとび庵神戸・石屋川		
所在地	神戸市灘区記田町1丁目3-7 (電話) 078(846)9555		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成21年6月8日	評価結果確定日	平成21年9月2日

【情報提供票より】 (21年5月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年6月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	27 人	常勤15人, 非常勤12人, 常勤換算19.6人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	3階建ての 1~3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有() 無()			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000円) 無()	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	450 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 1,300 円			

(4) 利用者の概要 (5月25日現在)

利用者人数	27 名	男性	2 名	女性	25 名
要介護1	8	要介護2	6		
要介護3	5	要介護4	6		
要介護5	2	要支援2	0		
年齢	平均 86 歳	最低	76 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	昭生病院、牧野歯科医院、新長田クリニック、荻原みさき病院
---------	------------------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人理念を基に全職員で話し合い、ホーム独自の具体的な理念を日々のケアの中で活かし、サービスの質向上に取り組んでいる。地域住民のホームへの理解も深まってきており、普段の挨拶だけでなく運営推進会議を通して得られた情報から地域への行事・自治会行事への参加を通して、利用者は地域とのつながりを持ちながら生活の継続ができるよう支援している。管理者・全職員は日々、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、利用者の話や動き・表情などから利用者一人ひとりの希望や意向を利用者の立場に立って考え、把握するように努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 第三者4)
	前年度の評価結果は、職員全員に回覧して見てもらい評価に対する認識を深めている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 第三者4) 各フロアー会議で自己評価を実施し、各ユニットから提出された自己評価をホーム長がまとめて今年度の自己評価を完成させた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 第三者4, 5, 6) 家族・地域包括支援センター職員・他のグループホーム施設長・地域住民代表・入居者代表が参加し2ヶ月に1回会議を開催している。会議では、ゆうとび庵通信等を配布し、ホームでの運営状況の報告、地域からの情報提供や家族会報告を行い、情報提供や意見が活発に出されホームの運営などに活かしていくように取り組んでいる。運営推進会議の議事録は、職員にも回覧し内容を理解してもらえるようにしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 第三者7, 8) 家族の面会時に直接声かけを行い、ご利用者の状況説明を行う中で、意見や要望が気軽に言えるような雰囲気作りに配慮している。ホーム内への意見箱の設置や年1回の家族会の実施で積極的に意見や要望を聞く姿勢がある。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目: 第三者3) ホームは住宅街の中にあり、朝夕の散歩時等、向かいのマンション住民の方々と挨拶などで交流している。地域の会合などで自治会の方から、AED設置による「まちかど救急ステーション」や「こども110番」に登録したりしているホームの様子を紹介されることで、地域のホームへの理解が深まってきている。地域福祉センターが月1回開催する「ふれあい喫茶」や、お餅つきなどの季節行事へ参加し、職員・利用者・地域の方と会話しながら交流を持つことができている。毎月1回近隣の公園の草引きを地域住民と共に行い、自治会活動にも参加している。2月の銭太鼓の行事には、地域の方へ参加案内を行い交流を図るように取り組んでいる。

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「より良い介護」「感動ある介護」の法人理念を基に全職員で話し合い、地域密着型サービスとしての役割を目指したホーム独自の具体的な理念を作りあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は、理念を理解し、喜怒哀楽を共に生活していくことが出来る介護を目指し、日々ケアに取り組み、職員一人ひとりが理念を実現する為に折りにふれ話し合い、理念にもとづいたケアの徹底に努めている。管理者は色々な問題が発生した時に職員の意見を聴きながら、理念にもとづいた助言を行い、ケアのバラツキがないようにしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>ホームは住宅街の中にあり、朝夕の散歩時等、向かいのマンション住民の方々と挨拶などで交流している。地域の会合などで自治会の方から、AED設置による「まちかど救急ステーション」や「こども110番」に登録したりしているホームの様子を紹介されることで、地域のホームへの理解が深まってきている。地域福祉センターが月1回開催する「ふれあい喫茶」や、お餅つきなどの季節行事へ参加し、職員・利用者・地域の方と会話しながら交流を持つことができている。毎月1回近隣の公園の草引きを地域住民と共に行い、自治会活動にも参加している。2月の銭太鼓の行事には、地域の方へ参加案内を行い交流を図るように取り組んでいる。</p>		<p>今後はホーム便りなどを地域へ配布するなどしてホームの理解を深め地域との交流をより深めていく取り組みを期待する。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前年度の評価結果は、職員全員に回覧し評価に対する認識を深めている。各フロア会議で自己評価を実施し、各ユニットから提出された自己評価をホーム長がまとめて今年度の自己評価を完成させた。</p>		<p>評価結果から課題について全職員で話し合いを持ち改善に向けた取り組みを期待する。全職員で自己評価を実施することが望まれる。</p>
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族・地域包括支援センター職員・他のグループホーム施設長・地域住民代表・入居者代表が参加し2ヶ月に1回会議を開催している。会議では、ホームでの運営状況の報告、地域からの情報提供や家族会報告を行い、情報提供や意見が活発に出されホームの運営などに活かしていくように取り組んでいる。運営推進会議の議事録は、職員にも回覧し内容を理解してもらえるようにしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	新年度には市町村に対し、運営推進会議開催状況や・要望助言に対する対応方法等の結果を書面で報告し、新しい年度の運営理念・目標等を報告している。又、随時行政が開催する各種研修にも積極的に参加している。ホームで問題が発生すれば相談し、問題解決へ取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月ゆうとぴあ庵通信と各担当職員が、近況を記載した手紙を添えて家族に報告している。急な変化があれば、その都度電話で連絡を行うようにしている。家族面会時などにもフロアの職員やホーム長から声かけを行いホームでの生活状況を話し、積極的に報告を行っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時に直接声かけを行い、ご利用者の状況説明を行う中で、意見や要望が気軽に言えるような雰囲気作りに配慮している。ホーム内への意見箱の設置や年1回の家族会の実施で積極的に意見や要望を聞く姿勢がある。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	各ユニットに基本的には、職員を固定し、顔なじみの関係を保てるようにしている。		自分の居場所としての職場作りを行い職員の離職を最小限にするような取り組みを期待する。ホーム長と職員の個人面談などを持ち職員個々の希望や状況を把握し離職を防ぐ取り組みを期待する。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内で現任・新人の年間研修計画を立案している。内部・外部研修に参加した場合は、研修レポートを職員個々に提出している。新人研修は、各新人職員の達成度も確認を行い職員の質の確保を行っている。外部研修については、交通費・参加費・総て会社が負担している。更に、公的資格取得の支援も行っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のグループホームとの交流の必要性は感じておりネットワーク作りに努めている。運営推進会議へ参加してもらっているホームとは、意見交換や交流を持っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>病院から在宅復帰が難しい利用者の紹介や家族からの利用申し込みが多く、利用申し込みがあれば必ず見学に来てもらっている。利用者の状況に合わせ自宅に伺い、顔馴染みの関係を築くようにしている。家族等の状況で利用者が十分な理解が得られないまま入居に至った場合でも家族の協力を得ながら職員の熟練したケアで馴染みの関係を築く努力をしている。</p>		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を支援されるのみの立場におかないよう職員と入居者が寄り添い生活を共にすることで、利用者の思いを理解し利用者個々の力が十分発揮できるように努めている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の話や動き・表情などから利用者一人ひとりの希望や意向を利用者の立場に立って考え、把握するように努めている。		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員の日々のケアの中での気づきや意見、家族面会時や連絡時に出された意見や要望を毎月のケアカンファレンスで話し合い、介護計画の作成を行っている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回の介護計画の見直しを実施するほか、利用者の急な変化や家族の要望や変化が生じた場合は、臨機応変な介護計画の見直しを行っている。		日々の些細な利用者の変化の兆しに予防的に対応していくために、介護経過記録の中に職員の観察内容の記載を行うなど記録の充実を図り毎月のカンファレンスに活かしていく取り組みを期待する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々 ^の 要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の希望に応じた散歩や個々の買物の希望に応じて臨機応変に対応している。検査や病状に変化があるときは、家族に同行を依頼するが、基本的には職員が送迎で病院受診を支援し利用者や家族の希望・要望を聞き柔軟に対応している。		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に主治医の往診が行われている。また、希望のかかりつけ医があれば受診支援し適切な医療を受けることができるよう支援している。往診医の看護師・薬剤師の指導により薬を服用しやすいようにするなど相談や情報交換を行う関係作りを行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に重度化や終末期に向けた事業所の方針については説明している。ご利用者の状態に応じて本人・家族からの要望や思いを聞く機会を多く持つようにしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>ご利用者の誇りを尊重しプライバシーに配慮された声かけが行われている。ミーティングなどで個人情報保護について職員の理解を深め、個人情報の取扱いには注意深く扱うようにしている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大まかな一日のスケジュールはあるが、利用者の気分や状況により利用者一人ひとりのペースを大切にしたいその人らしい暮らしができるように支援している。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者個々の希望や力量に応じて調理や盛り付け・後片付けなどを職員と共に行い、利用者と職員は食を通じた会話を楽しんでいる。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者の習慣や希望に添った入浴支援を行なうようにしており、不安や羞恥心などに配慮しスムーズで安全な入浴ができるように支援している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者個々の希望や能力に応じ掃除や洗濯・調理・後片付けなど日常の役割を果たせるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者のその日の気分や希望により散歩やドライブを行い外出の確保に努め、屋内に閉じこもったままにならないように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム建設時より安全性を考え玄関はオートロックになっている。職員は鍵をかけることの弊害について理解し、利用者が閉塞感を感じないように配慮し、家族には施錠について説明し理解と協力を得るようにしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防避難訓練を行っており、そのうち1回は夜間を想定した避難訓練を行っている。地域住民への協力依頼も運営推進会議を利用していき必要性を感じている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事報告書にて献立ごとに摂取量を記載している。チェック表に水分摂取量も記載し利用者個々の摂取量を把握している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者個々が活動しやすいように家具や椅子を配置し、居心地良く自由に過ごせるようにしている。花や絵・写真などで生活感や季節を感じながら過ごせるように工夫している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時より家族に利用者本人の使い慣れた馴染みの物の持込を依頼し、利用者がその人らしく居心地の良い居室空間作りに取り組んでいる。</p>		

 は、重点項目。